

ABIC 国際社会貢献センター

Information Letter

No. 73 2025年7月

第74回理事会、第75回理事会および第25回通常総会、第76回理事会を開催	2
理事長交代あいさつ	2
2024年度事業報告	2
2025年度事業計画	5
2024年度決算および2025年度予算	5
役員等	6
非政府機関への協力	7
日本と香港の架け橋を目指して	7
自治体・中小企業支援	8
埼玉県中小企業の海外展開に挑む 統括コーディネーターとしての第一歩	8
留学生支援	9
留学生支援バザー	9
ABIC事務局組織	10
新規入会のお知らせ	11
会員の種類	11
正会員／賛助会員一覧	11
賛助会員入会のお願い	12

特定非営利活動法人 国際社会貢献センター (ABIC)
Action for a Better International Community

www.abic.or.jp

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-2-1
霞が関コモンゲート西館20階
Tel : 03-6268-8604 Fax : 03-6268-8652
e-mail : mail@abic.or.jp

(関西デスク) 〒541-0053 大阪市中央区本町4-4-24
住友生命本町第2ビル9階
Tel : 06-6226-7955
e-mail : kansai-desk@abic.or.jp

第74回理事会、第75回理事会および 第25回通常総会、第76回理事会を開催

3月31日（月）に第74回理事会が開催され、2025年度事業計画および活動予算、役員の補充選任について審議が行われ、いずれも原案通り承認されました。

5月30日（金）に第75回理事会が開催され、2024年度事業報告および収支決算、役員の補充選任、正会員の入会、定款の一部変更について審議が行われ、いずれも原案通り承認されました。また、副会長の委嘱、顧問の委嘱について報告が行われました。続いて第25回通常総会が開催され、定款の一部変更について審議が行われ、原案通り承認されました。また、第75回理事会における定款の一部変更以外の議決事項および報告事項について報告が行われました。

宮本史昭前理事長は顧問、個人正会員として引き続きABICの活動をご支援いただくことになりました。副会長には新たに今井斗志光 豊田通商株式会社 社長CEO、大本晶之 丸紅株式会社 社長にご就任いただくことになりました。

6月1日（日）に第76回理事会が書面開催され、徳田憲 一般社団法人日本貿易会常務理事が新理事長に選任されました。



宮本史昭 前理事長 退任あいさつ

日々さまざまな出来事が起き、これまで当たり前と思っていたことがそうではなくなりつつある世の中で、こうして無事に任期を全うすることができたのは皆さまのご支援のおかげであり、感謝感謝です。

当センターの國分前会長は「日本貿易会80年弱の歴史で最大のイノベーションはABICを設立したことである」と常々おっしゃっておられ、私も肌で実感した4年間でした。志の高いOB／OGが仲間として集まり、事業や教育の分野で足代プラスアルファの有償ボランティアにいそしむという善意からなる組織は稀有な存在であり、誇らしい限りです。

ABICの活動が量・質ともによりいっそう充実し、会員の皆さまが時にはドキドキしつつもニコニコ・ワクワクしながらご活躍されることを切に願い、徳田さんにバトンを渡します。ますますのご健勝を。All the best！



宮本前理事長

徳田憲 新理事長 就任あいさつ

このたび宮本さんから引き継ぎを受け、6月より第8代のABIC理事長に就任することになりました徳田です。

1987年に住友商事に入社、主に財務関連業務に従事し、2020年には日本貿易会の所管部署となるグローバル戦略推進部へ異動し、ABICにおける会員の皆さまの活気あふれる活動状況につきましても事務局長の岩田さんを通じて折に触れて伺っていたこともあり、今般、理事長職を拝命し身の引き締まる思いであります。

2000年の設立以来、社会貢献として人的支援を行うABICへの期待はますます高まっていますが、これもひとえに皆さまの日頃からの献身的な活動のおかげだと思います。引き続き皆さまと共にABICを盛り上げていきたいと思っておりますので、何とぞよろしくお願い申し上げます。



徳田新理事長

2024年度事業報告

活動分野	主要事業	主な活動状況	活動実績 (延べ人数)
政府機関関係	ODA関連の人材紹介・推薦、政府機関諸事業（中小企業支援等）の受託および人材紹介・推薦、各種セミナー等への講師派遣、等	2024年度の活動実績（延べ人数）は156人となり、前年度に比べ54人の増加となった。主な活動は以下の通り。 - 経済産業省：「中小企業等アウトリーチ事業」受託企業の安全保障貿易管理アドバイザーとしてABIC会員2人が活動を継続した。 - 内閣府：「遺棄化学兵器処理事業」受託企業のエンジニアとしてABIC会員1人が採用され活動した。 - 日本貿易振興機構：2024年度も業務委託契約を締結し、「新輸出大国コンソーシアムパートナーによるハンズオン支援業務」、「輸出プロモーター業務（農林水産・食品分野）」の専門家として各々6人、2人のABIC会員が採用され活動した。 - 中小企業基盤整備機構：令和6年度国際化支援に係る中小企業アドバイザーとしてABIC会員21人が採用され活動した。	156

活動分野	主要事業	主な活動状況	活動実績 (延べ人数)
NGO／NPO等 非政府機関関係	NGO／NPO、国際機関など非政府機関への人材紹介・推薦、等	2024年度の活動実績（延べ人数）は9人となり、前年度に比べ6人の増加となった。主な活動は以下の通り。 - 国際環境NGOのプロジェクトマネジメント人材等としてABIC会員3人が活動を継続した。 - 災害支援NGOのシステム改修・開発プロジェクトマネジメント人材としてABIC会員1人が採用され活動した。 - NPO法人の事務局長としてABIC会員1人が採用され活動した。	9
地方自治体・中小企業支援	地方自治体・関係機関の企業誘致・産品輸出促進・中小企業支援等への人材紹介・推薦、中小企業への直接人材紹介・推薦、各種セミナー等への講師派遣、等	2024年度の活動実績（延べ人数）は386人となり、前年度に比べ30人の増加となった。主な活動は以下の通り。 - 全国各地の地方自治体（北海道むかわ町、福島県、品川区、長野県、大阪府、大阪市、神戸市、和歌山県、宮崎県など）および関係産業振興機関（いばらき中小企業グローバル推進機構、埼玉県産業振興公社、東京都中小企業振興公社、滋賀県産業支援プラザ、東大阪市産業創造勤労者支援機構、えひめ産業振興財団、高知県UIターンサポートセンター、高知県産業振興センターなど）にて、多数のABIC会員が採用され地場中小企業の販路開拓、輸出・海外進出などを支援した。 2024年4月に小田原箱根商工会議所と連携協力に関する協定書を締結し、管内中小企業2社にて各々1人のABIC会員が採用され活動した。	386
外国企業の対日ビジネス支援、研修	外国企業の日本進出・販路開拓支援、外国企業・政府機関への人材紹介・推薦、日本企業の海外赴任者研修等への講師派遣、等	2024年度の活動実績（延べ人数）は65人となり、前年度に比べ15人の増加となった。主な活動は以下の通り。 【外国企業支援】 - ドイツ系コンサルタント会社のMarketing Advisorとして2人、米国州政府在日共同代表として1人、在日大使館のAutomotive Key Account Managerとして1人のABIC会員が活動を継続した。 - 第17回川崎国際環境技術展の日欧産業協力センター主催サイドイベントにてABIC会員6人が通訳として採用され活動した。 - FOODEX JAPAN 2025に出展したデンマークパビリオン、トルコ、ベルギー、スペイン、カナダ、スリランカ各企業の通訳としてABIC会員8人が採用され活動した。 - 第39回ネブコン ジャパン エレクトロニクス開発・実装展出展企業の通訳としてABIC会員1人が採用され活動した。 【研修】 - 日本企業8社から計29件（15カ国・地域）の海外赴任前研修への講師派遣依頼があり、ABIC会員延べ29人が採用され活動した。	65
大学・社会人講座	大学・社会人講座等への講師派遣や講座受託	2024年度の活動実績（延べ人数）は220人となり、前年度に比べ16人の増加となった。主な活動は以下の通り。 26大学・大学院（79講座、1,091コマ）、4社会人講座（4講座、87コマ）にて延べ220人のABIC会員が講師として採用され活動した。 - ABIC会員向け「大学講師勉強会」を継続開催した。	220
教 育	小中高校国際理解教育	2024年度の活動実績（延べ人数）は466人となり、前年度に比べ91人の増加となった。主な活動は以下の通り。 【日本語学習支援】 - 東京都多摩市、新宿区の小中学校に通う外国籍児童・生徒への日本語学習・生活指導支援を継続した。また、東京都教育支援機構と多文化共生スクールサポートセンター事業に関する実施協定書を締結し、都立高校・特別支援学校に通う外国籍生徒への日本語指導、保護者面談通訳などの支援を開始した。 - 宮城県気仙沼市との包括協定に基づく業務委託契約を更新し、市が運営する外国人技能実習生向け日本語教室の講師としてABIC会員4人が活動を継続した。 - パキスタンSuperior Univ.の日本で就労を目指す学生向けオンライン日本語授業の講師としてABIC会員6人が活動した。 - Plus W社の在パキスタン大学生向けオンライン日本語トレーニングプログラムの講師としてABIC会員3人が活動を開始した。 【国際理解／キャリア教育】 - 和歌山県教育委員会との連携を継続し、同県の小中高校9校にて国際理解／キャリア教育の講師として延べ8人のABIC会員が活動した。 - 大妻中野中学校・高等学校との連携による「ABICグローバル・キャリア・セミナー」の講師としてABICの女性会員2人が活動した。 - 関西学院大学との共催により「高校生国際交流の集い2024」を継続開催した。	466

活動分野		主要事業	主な活動状況	活動実績 (延べ人数)
在日留学生支援・交流		在日留学生・家族への日本語・日本文化学習支援、育児相談通訳支援、バザーへの物品提供協力、等	2024年度の活動実績（延べ人数）は590人となり、前年度に比べ26人の減少となった。主な活動は以下の通り。 - 日本学生支援機構が運営する外国人留学生・家族の居住施設である東京国際交流館および兵庫国際交流会館の日本語広場、日本文化教室へのABIC講師派遣を継続したほか、春・秋のバザーへの物品提供、国際交流フェスティバルでの日本文化体験教室開催に協力した。 - 東京外国語大学「留学生支援の会」の外国人留学生・研究者等の家族（子弟）への日本語学習支援を継続した。 - 兵庫国際交流会館にて日本で就職を目指す留学生向け講演会「ABIC Business Conference」を開催し、ABIC会員2人が登壇した。 - ABIC会員向け「日本語教師養成講座」（6ヵ月120時間コース）を継続し、計13人が修了した。開講以来の修了者は累計288人となった。	590
その他	国際イベント等への協力	各種国際イベントでの通訳・来場者アテンド、等	2024年度の活動実績（実人数）は2人となり、前年度に比べ横ばいとなった。主な活動は以下の通り。 2024年5月に開催された「KOBE2024世界パラ陸上競技選手権大会」のボランティアとしてABIC会員2人が採用され活動した。	2
	一般人材紹介、その他	一般人材紹介、各種プロジェクトの受託、等	2024年度の活動実績（延べ人数）は120人となり、前年度に比べ17人の減少となった。主な活動は以下の通り。 - ABICの人材紹介により正規雇用（常勤、非常勤）されたABIC会員7人が就業を継続した。 - 三井物産との在日ブラジル人支援プロジェクト（在日ブラジル人子弟奨学金供与、NPO助成）に関する業務委託契約を更新し、同社OBのABIC会員5人が専任スタッフとして活動した。新たに在日ブラジル人大学生奨学金プログラムが加わり、募集・選考を行った（2025年度開始）。	120
合 計				2,014

会員状況 (2025年3月末)	法人正会員	17社・1団体（増減なし）
	個人正会員	12人（1人増） 新規入会：國分文也氏
	法人賛助会員	3社・1団体（増減なし） 新規入会：JAPAN WAY株式会社 退会：三谷ビジネスパートナーズ株式会社
	個人賛助会員	179人（5人減） 新規入会：23人、退会：28人
	活動会員	3,024人（14人減） 新規入会：122人、退会：136人
体制	事務局体制	3人体制を維持（事務局長1人、正職員1人、契約職員1人）
	コーディネーター体制	22人体制を維持（東京オフィス17人、関西デスク5人）。交代：東京オフィス1人（5月）、関西デスク1人（7月）
基盤強化	諸規程の整備	「個人情報保護規程」一部改定（4月） 「個人情報適正管理規程」および「手数料の取り扱いに関する取極め」（「職業紹介事業の業務運営に関する規程」補則）制定（5月） 「人事評価規程」一部改訂（6月） 「コーディネーター活動規程」、「旅費規程（コーディネーターの出張）」、「旅費規程」一部改定（7月） 「労災特別補償規程」制定（7月） 「手数料の取り扱いに関する取極め」（「職業紹介事業の業務運営に関する規程」補則）一部改定（8月）
広報活動	会報『ABIC Information Letter』発行	活動会員やコーディネーターによる寄稿（活動レポート）、事務局だよりなどを掲載し、会員・関係先向けに発行。（4月、7月、12月）
	『日本貿易会月報』寄稿	日本貿易会の機関誌『日本貿易会月報』の「ABIC PLAZA」のコーナーに活動会員やコーディネーターによる寄稿（活動レポート）を掲載。（毎月、年6回）
	ウェブサイト運営	活動概要を年次更新。（8月）
	広告	国際貿易投資研究所『世界経済評論』にて日本貿易会との共同純広告「経験、知見、人的ネットワークを生かした社会貢献活動」を掲載。（毎月、年6回）

2025年度事業計画

活動分野		活動目標 (延べ人数)	事業計画（全分野共通）
政府機関関係		200	- ABIC会員を紹介・推薦し、継続的に採用されている相手先（政府機関、NGO／NPO、地方自治体・関係機関、学校・教育機関、企業・団体、等）との関係維持・強化による活動人数の維持・拡大を図る。 - コーディネーター全体会議（東阪合同）を開催し、事業計画の中間レビューを行う（PDCAを回す）。2024年度に活動分野別コーディネーター会議を実施していない分野（外国企業支援／研修、留学生支援）は、事業計画の中間レビューと合わせ、活動人数の維持・拡大策を議論し、優先順位を付けて実行する。 - 採算意識の醸成を図る（適格インボイス制度導入によるコスト上昇回避、人材紹介・推薦手数料改定の浸透、会員向け講座・勉強会等の採算確保、など）。 - ABIC派遣講師（日本語・日本文化講師、大学講師）間のコミュニケーション（情報共有・意見交換）を促進する。 - ABIC活動会員と顔の見える関係を構築する（新規入会会員や初めて活動する会員との面談、会員向け講座・勉強会・懇親会、会員アンケートによるスキル把握、など）。
NGO／NPO等非政府機関関係		10	
地方自治体・中小企業支援		420	
外国企業の対日ビジネス支援、研修		70	
教 育	大学・社会人講座	190	
	小中高校国際理解教育	500	
在日留学生支援・交流		650	
そ の 他	国際イベント等への協力	30	
	一般人材紹介、その他	130	
合 計		2,200	

2024年度決算および2025年度予算

(単位：千円)

科 目	2024年度決算額	2025年度予算額
I 経 常 収 益		
(1) 受 取 会 費	5,920	5,940
法 人 会 費	(4,790)	(4,800)
個 人 会 費	(1,130)	(1,140)
(2) 受 取 寄 付 金	20	0
(3) 事 業 収 益	105,287	107,630
日 本 貿 易 会	(46,310)	(46,090)
そ の 他	(58,977)	(61,540)
(4) 雑 収 益	19	0
経 常 収 益 計	111,245	113,570
II 経 常 費 用		
(1) 事 業 費	60,365	65,197
(2) 管 理 費	49,976	50,493
経 常 費 用 計	110,341	115,690
当 期 経 常 増 減 額	904	-2,120
経 常 外 収 益	0	0
経 常 外 費 用	0	0
当 期 正 味 財 産 増 減 額	904	-2,120
前 期 繰 越 正 味 財 産 額	47,460	48,364
次 期 繰 越 正 味 財 産 額	48,364	46,244

役 員 等

2025年6月1日現在（敬称略、社名・団体名五十音順）

会 長	安 永 竜 夫	一般社団法人日本貿易会 会長 三井物産株式会社 代表取締役会長
名 誉 会 長	國 分 文 也	当センター 前会長、一般社団法人日本貿易会 前会長 丸紅株式会社 取締役 名誉顧問（6月20日 取締役 退任予定）
副 会 長	石 井 敬 太 上 野 真 吾 植 村 幸 祐 今 井 斗志光 大 本 晶 之 中 西 勝 也	伊藤忠商事株式会社 代表取締役社長 社長執行役員COO 住友商事株式会社 代表取締役 社長執行役員CEO 双日株式会社 代表取締役 社長CEO 豊田通商株式会社 社長CEO（6月20日 代表取締役社長CEO 就任予定） 丸紅株式会社 社長（6月20日 代表取締役 社長 就任予定） 三菱商事株式会社 代表取締役 社長
理 事 長 常 務 理 事 理 事	徳 田 憲 岩 田 淳 田 部 義 仁 西 澤 正 男 小野寺 秀 小木曾 弘 一 光 信 博 雄 才 上 純 恩 田 ちさと 藤 村 武 宏	一般社団法人日本貿易会 常務理事 一般社団法人日本貿易会 常務理事付 伊藤忠商事株式会社 サステナビリティ推進部長 住友商事株式会社 サステナビリティ推進部長 双日株式会社 人事第二部長 豊田通商株式会社 総務部 社会貢献室長 一般社団法人日本貿易会 サステナビリティグループ長 兼 広報グループ長 丸紅株式会社 グローバル総括部 副部長 三井物産株式会社 執行役員 サステナビリティ経営推進部長 三菱商事株式会社 執行役員 総務部長
監 事	保 田 明 子	一般社団法人日本貿易会 理事 人事総務グループ長

（敬称略、就任順）

顧 問	池 上 久 雄 吉 田 靖 男 三 幣 利 夫 市 村 泰 男 岩 城 宏 斗司 宮 本 史 昭	当センター 元理事長、一般社団法人日本貿易会 元常務理事 当センター 元理事長、一般社団法人日本貿易会 元常務理事 当センター 元理事長、一般社団法人日本貿易会 元常務理事 当センター 元理事長、一般社団法人日本貿易会 元常務理事 当センター 元理事長、一般社団法人日本貿易会 元常務理事 当センター 前理事長、一般社団法人日本貿易会 前常務理事
参 与	宮 内 雄 史 野 津 浩 名 鏡 敬 治 関 伊知郎 山 口 俊 之 宮 崎 浩 志	当センター 元常務理事・事務局長 当センター 元常務理事・事務局長 当センター 元常務理事・事務局長 当センター 元常務理事・事務局長 当センター 元常務理事・事務局長 当センター 前常務理事・事務局長

非政府機関への協力

日本と香港の架け橋を目指して

NPO法人日本香港協会 事務局長 ^{こんどう}近藤 ^{おさむ}修 (元 みずほ銀行)

ABICに紹介していただきNPO法人日本香港協会に着任して、この6月でちょうど丸1年になる。この1年はあっという間に過ぎ去った1年であった。

1995年から1999年の4年間香港に勤務していたといっても、帰国してはや25年。一抹の不安はあったが、長年銀行で勤務していたこともあり、また、スタートアップ企業の顧問の仕事も数年していたので、幸いなことに、協会の管理面や経理面については、大きな戸惑いもなく始めることができた。

ルーティン業務としては、毎日各理事（現在26人）や会員から送られてくるメールのチェックと返信、セミナーやイベント等行事の準備状況の全体的な進捗管理（個々の行事の推進主体は各委員会）、毎月開催される理事会の招集やハイブリット開催の準備、理事会の議事録作成、NPO法人の日々の会計処理（事務局員が起票した伝票を会計ソフトに入力）、関係団体との連携など多岐にわたる。

契約上の勤務体系は、毎月定額支給で週2日10時から17時までだが、まずその時間に終わることはなく、繁忙時は19-20時になることも茶飯事。場合によってはそれ以降も仕事せざるを得ないときもあるが、借りている事務所との関係上、20時以降は業務をできない。また、繁忙時は週3-4日勤務のときもある。

イベント（セミナーや交流会）も多く、網羅的に記載すると、単発イベントである法人会員交流会、ドラゴンボートレース、ビジネス座談会、会員懇親ゴルフ大会、大型シンポジウム（日本と香港に係る）、香港フォーラム（香港で開催されるビジネス協会の世界大会）、クリスマスパーティー、総会などに加え、毎年5-6か月の期間開催される「華人経営研究講座」や年間を前期・後期に分けて



25年前に住んでいた香港のマンションの庭にて

6ヵ月ごとに行う広東語教室があり、年会費の徴収業務（個人会員約300人、法人会員50社弱）の他、各種イベントの申込管理や受講料・参加料等の徴収管理業務が発生する。

多忙を極める日々ではあるが、さまざまなイベントでのネットワーキングや会員の皆さまとの交流は大変有意義で楽しい。まだわずか1年間の勤務ではあるが、各イベントに積極的に参加していただく会員の方も多く、だんだんと顔見知りの方が増えていく楽しみは、代え難いものがある。また、各種活動を推進していく中で、香港に駐在し現地の代表を歴任した理事の皆さんと意見交換することは、自分自身への大きな刺激になる。毎月の理事会も和やかな雰囲気の中で意見が交わされる。香港フォーラム（毎年全世界から30数ヵ国、約300人が集まる）やアジア各地で毎年持ち回りで開催されるアジアフォーラムで、香港人を中心とした各国の出席者と交流できることは大きな楽しみの一つである。

現在協会は大きく分けて四つの委員会（ビジネス交流、学術スポーツ交流、文化交流、広東語教室）で構成されているが、いくつかの委員会を兼務して、活躍している理事も多い。各理事はボランティアで活動しており頭が下がる。イベントや委員会によっては事務局がある程度サポートしていかないとワークしないものもある。事務局長は協会全体の運営がスムーズにいくよう会長や理事をサポートすることと心得ており、大変ではあるが、運営面の変えるべき点は変えていき、協会が日本と香港のより強固な架け橋となれるよう、微力ではあるがあと数年は頑張っていきたい。



香港の下町（香港フォーラム訪問時）

自治体・中小企業支援

埼玉県中小企業の海外展開に挑む 統括コーディネーターとしての第一歩

こうさい はじめ
香西 元 (元 住友商事)

私はもともと総合商社に勤務し、その後は外資企業やスタートアップを経て、多様な業務に携わってきた。2024年春、公益財団法人埼玉県産業振興公社が募集する「海外展開支援事業統括コーディネーター」の職にABICを通じて出会い、同年6月より業務を開始した。自身の知見を地域経済に還元したいという思いからのチャレンジである。

現在は、埼玉県内の中小企業を対象に、輸出を軸とした海外展開の支援を行っている。主な支援業務は、県の支援メニューに基づくマーケティングセミナーや啓発イベントの企画・運営、展示会・商談会への出展支援、バイヤーとの商談調整、翻訳支援、物流課題への対応、価格戦略の助言など多岐にわたる。

対象となる企業は、輸出未経験の事業者から、すでに一定の実績を持つ事業者まで幅広い。いずれも共通しているのは、「海外市場に挑戦したい」という熱意である。私はその熱意を具体的な成果に結びつける役割を担っている。

これまでに、公社が輸出志向のある県内企業に声をかけて組成した「海外展開支援コンソーシアム」において、ネットワーク形成と実践支援の第一歩としてイベントを複数回開催した。イベントでは、外部講師による「輸出を通じて企業の事業力そのものを高める」という視点を伝える、示唆に富んだキーノートスピーチに加え、埼玉県内企業による成功事例の共有、さらに会員同士によるグループディス

カッションを実施。参加企業にとっては、新たな発想や自社の可能性に気付くきっかけとなり、ネットワーク形成と実践支援への第一歩となった。

その中で印象的だったのは、もともとBtoCビジネスを主軸としていた企業が、BtoB領域への事業展開を模索する中で、アジア圏に販路を持つ卸売企業（同じコンソーシアム内の協力事業者）とのマッチングが生まれ、現在複数の商談につながっているケースである。また、参加企業のニーズを踏まえ、JETROのプログラムなど外部支援制度への橋渡しも行っており、段階的な輸出体制の整備に向けた動きが少しずつ具体化してきている。

この活動を通じて、地域社会に役立つというやりがい強く実感している。日々の支援が企業の成長につながる喜びは、民間企業勤務時代とは異なる充実感をもたらしてくれている。また、自らが旗振り役となって新しい挑戦を仕掛ける機会も多く、刺激に満ちた日々である。

今後は、小さな成功事例を積み重ねながら、それをより多くの事業者に波及させていきたい。現在の重点分野である食品および雑貨類に加え、他分野の展開も視野に入れ、埼玉から世界への挑戦をさらに加速させるつもりである。

ABICからいただいたこの貴重な機会に深く感謝し、今後も地域企業の成長と発展に全力で貢献していく所存である。



コンソーシアム企業間におけるキックオフイベントの様子
輸出を行うメリットに関する講演



ホーチミンにおけるテストマーケティングの様子

留学生支援

留学生支援バザー

留学生支援グループコーディネーター **たけはら 竹原** **まさかず 正和** (元 伊藤忠商事)

東京国際交流館

5月31日(土)、6月1日(日)の両日、恒例の春の新入館生歓迎バザーが東京国際交流館で開催された。売り上げは約105千円となり、ABIC事務費用を差し引きバザーの運営を担うRA^(※)に留学生サポート活動資金として提供させていただいた。これは118箱もの品物をご寄贈いただいたABIC会員や日本貿易会会員各社役員のご協力の賜物であり、厚くお礼申し上げます。

初日は肌寒く、雨と強風に悩まされた。お台場特有の風があまりにも強く、外に陳列した品物が周囲に飛び交い、RAたちは準備に苦労していたが、全品目を低価格に抑える策が功を奏したのか、大量に売れた。

2日目は好天に恵まれた。来場者の出足は鈍かったが、RAのアイディアで何度か館内放送を実施したところ急増し、売り上げは好調だった。

両日もABICが交流館で運営している日本語広場の講師(計3人)にご協力いただき、来場者に日本語広場、日

本文化教室のチラシを配布して勧誘を行った。

RAは6-7人ほど常駐しており、役割が明確でチームワークも良く、統制が取れていた。秋のバザーでもRAと一致協力し、留学生の生活を支援したい。



兵庫国際交流会館

4月25日(金)の新入館生歓迎パーティに続き、5月17日(土)に恒例の歓迎バザーが開催された。今回で18回目になるが、新入館生、既入館生合わせて約30人が来場した。今回もABIC会員や日本貿易会会員各社役員から68箱もの品物をご寄贈いただき、売り上げは1.6万円となった。この売上金は、ABIC事務費用を差し引きバザーの運営を担うRAに留学生サポート活動資金として提供させていただいた。ご支援くださった皆さまに厚く感謝申し上げます。

連休明けの多忙な日々で疲れて休んでいたとか、他の行事があって参加できなかったという学生もいたが、前回と同様、アフリカから留学している在館生が数人で連れ立ってやってきて、衣類以外にも玩具や各種雑貨など広範な品物をまとめ買いしてくれた。定番の夏物衣類、食器類、バッグ類はもとより、今回は小型掃除機、小型扇風機、ホットプレートなど電化製品が多く出品されていた。4月に入館

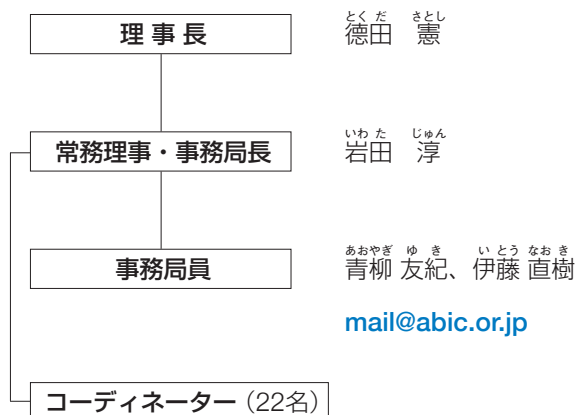
関西デスクコーディネーター **かしむら 鹿志村** **かおる 馨** (元 住金物産)

した学生はアフリカ、中東、中南米などからの留学生が多いが、来日間もない学生にとってこれら電化製品は生活必需品であり、驚くほどの廉価に大変満足していた。



(※) RA (Resident Assistant) : 交流館に居住し、同館に入居する外国人留学生などの日常生活や勉学上のサポートなどを行う日本人大学院生。

ABIC事務局組織 (2025年7月1日より) 〈氏名五十音順〉



- 総務・経理 めいきょう けいじ 名鏡 敬治
mail@abic.or.jp
- 自治体・中小企業支援グループ すぎやま なおや たか た なるひと とりやま しげとお なかはし かずひき まつもと たかし 杉山 直也、高田 成人、鳥山 重遠、中橋 和久、松本 匡
smesupp@abic.or.jp
- 外国企業支援グループ かめみさき むつや 亀 岬 睦也
support@abic.or.jp
- 大学等講座グループ たきもと ただし つる み くにお ますい てつじ 瀧本 忠、鶴見 邦夫、増井 哲治
univ@abic.or.jp
- 小中高校国際理解教育グループ さかもと ひで き すがのう みやうち ゆうじ 坂本 英樹、菅納 ひろむ、宮内 雄史
krikai@abic.or.jp
- 留学生支援グループ たけはら まさかず みや こ かず こ やま だ たかし 竹原 正和、宮子 和子、山田 隆
abicaiba@abic.or.jp
- 新規案件・特命担当 せき い ちろう 関 伊知郎
mail@abic.or.jp
- 関西デスク いかわ てつひろ いたくら なおと さかい ひろし よしとみ しげたか わまた しんいちろう 井川 哲宏、板倉 直人、酒井 宏、吉富 茂隆、和又 真一郎
kansai-desk@abic.or.jp

e-mailアドレス・住所等の変更届けはお忘れなく！

e-mail アドレス・住所などの変更がありましたらご連絡ください。
 転居先不明で返送される例が増えています。

e-mail: mail@abic.or.jp FAX: 03-6268-8652

新規入会のお知らせ

正 会 員(個人) 2025年6月入会 宮本史昭氏 特定非営利活動法人国際社会貢献センター 前理事長
一般社団法人日本貿易会 前常務理事

賛助会員(法人) 2025年2月入会 JAPAN WAY株式会社

(個人) 2025年3月以降入会 下記の通り

会員の種類

種類	内容	年会費
正 会 員	センターの目的に賛同し、活動を推進し、会費を納める個人、法人および団体。(理事会の承認を得て入会)	法人および団体 1口 50,000円
		個人 1口 10,000円
賛助会員	センターの目的に賛同し、会費を納める個人、法人および団体。	法人および団体 1口 10,000円
		個人 1口 5,000円
活動会員	センターの目的に賛同し、活動に参加しようとする個人。	なし

(2025年6月1日現在)

正 会 員

法人・団体(17社、1団体)〈社名・団体名五十音順〉

〈10口〉伊藤忠商事(株) 住友商事(株) 双日(株) 豊田通商(株) (一社)日本貿易会 丸紅(株) 三井物産(株) 三菱商事(株)

〈2口〉稲畑産業(株) 岩谷産業(株) 長瀬産業(株) 日鉄物産(株) 阪和興業(株)

〈1口〉兼松(株) 興和(株) 三洋貿易(株) JFE商事(株) 蝶理(株)

個人(13名)〈敬称略、氏名五十音順〉

〈3口〉中村邦晴

〈1口〉池上久雄 市村泰男 岩城宏斗司 岡 素之 國分文也 小林栄三 小林 健

佐々木幹夫 寺島実郎 宮原賢次 宮本史昭 吉田靖男

賛 助 会 員

法人・団体(2社、1団体)〈社名・団体名五十音順〉

〈2口〉(公社)東京のあすを創る協会

〈1口〉(株)エックス・エヌ JAPAN WAY(株)

個人(176名)〈敬称略、氏名五十音順〉 * 2025年3月以降にご入会いただいた方

〈5口〉廣瀬一郎 〈2口〉安藤元厚 井川哲宏 遠藤寿一 奥谷直也 川島一郎 倉光恭三 公平伸夫 笹倉優

三幣利夫 白石一郎 新藤哲雄 関伊知郎 野津浩 坂東寛隆 福田定直 藤井眞 前田耿史 松尾謙二 宮内雄史

名鏡敬治 山田芳正 山本一良 〈1口〉朝倉一美 東光子 安達公一 安達晋 * 荒木康文 安齋正行 猪狩眞弓

(賛助会員続き)

生島幸哉 石橋満 板倉直人 伊東良平 稲田寛 今井明良 植木正憲 江川典一 榎本啓一郎 江幡吉信
 遠藤研二 遠藤眞喜子 大久保浩司 大浩義之 太田光雄 大西稔男 岡本徹 小川秀洋 小畑克之 織辺重之
 角井信行 鹿志村馨 片桐二郎 *片山仁 葛城慎輔 紙屋司 河崎隆夫 閑林亨平 吉川和夫 久木田修司
 櫛田光彦 葛目薫 工藤章 久保山毅 *九門みさき 九門康之 倉地弘之 黒岡誠一 鋤形勲 坂上恵一
 坂本英樹 *澤村康史 城田比佐子 菅納ひろむ 菅原信夫 杉浦康之 杉下由紀子 *鈴木紀子 鈴木紘司
 鈴木昌宏 *煤田徳東 関口幸男 関原滋彦 高嶋宏臣 鷹津俊一 高塚謙次 高柳昌之 瀧本忠 竹下浩
 武田勝年 竹田真奈美 竹原正和 田島基二 *田島敏雅 橘弘志 田中昭彦 田中剛 玉木興畠 柘植要介
 辻萬亀雄 土屋英五 津守克平 鶴見邦夫 *出口正尚 *寺澤眞治 都丸啓吉 富永宏志 友永隆浩 鳥山重遠
 *中川昌昭 永島謙介 中園智子 仲田慎太郎 永田明司 中高英明 中野教子 永峰千年 鍋島英幸 西以久夫
 西川裕治 西澤俊一 西村信泰 西山勝昭 橋本政彦 橋本勝 長谷川大幾 畑宏幸 羽生憲夫 早川俊一郎
 葉利博 坂野正典 疋田和三 菱川治 日野武彦 福田毅 福永信一 藤井重隆 藤巻宏敏 藤村登 藤原照明
 布施克彦 舟橋金之介 船見義克 堀江博 増井哲治 *松田元博 松本匡 松山久 *丸山忠男 三浦純一
 三神博美 味田村正行 三栗敏 宮内正敬 宮子和本 宮本正明 *村田耕次 村田三七男 森岳三 森松直毅
 矢尾板健二 山岸正雄 山口信行 山崎義則 山田隆 山中健司 山根昭郎 山根学 山本秀一 山本博勝
 山脇隆司 横山泰雄 吉田房子 吉富茂隆 李明浩 和又真一郎

活 動 会 員 3,042名

賛助会員入会のお願い

ABICの目的にご賛同いただき、資金的な援助をしていただける活動会員およびその他の個人の方、
 ならびに法人および団体の皆さまのご入会をお願い申し上げます。

会員入会のお問い合わせ・連絡先

特定非営利活動法人 国際社会貢献センター (ABIC)

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-2-1 霞が関コモンゲート西館20階

TEL : 03-6268-8604 FAX : 03-6268-8652 E-mail : mail@abic.or.jp